



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年9月27日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東  
コード番号 4343 URL http://www.fantasy.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 美津子  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経財・管理本部・本部長 (氏名) 新田 悟 (TEL) 043 (212) 6203  
四半期報告書提出予定日 平成24年10月4日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績（平成24年2月21日～平成24年8月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	21,912	—	1,581	—	1,587	—	738	—
24年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 705百万円 (—%) 24年2月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	40.71	40.60
24年2月期第2四半期	—	—

(注) 平成25年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	26,602	18,841	69.8
24年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 18,570百万円 24年2月期 —百万円

(注) 平成25年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期の数値は記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0 00	—	32.00	32.00
25年2月期	—	0 00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年2月21日～平成25年2月28日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	—	3,700	—	3,700	—	1,800	—	99.28

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成25年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率は記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 4社 （社名）永旺幻想（北京）児童遊楽有限公司 AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN. BHD.  
AEON Fantasy (Thailand) Co., Ltd. AEON Fantasy Holdings (Thailand) Co., Ltd.  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期2Q	18,175,688株	24年2月期	18,175,688株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	44,596株	24年2月期	46,196株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期2Q	18,130,509株	24年2月期2Q	18,129,187株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績は、売上高219億12百万円、営業利益15億81百万円、経常利益15億87百万円、四半期純利益7億38百万円と若干計画未達となりましたが、今期は単体営業利益で8.1%増、四半期純利益で27.8%増と増益した昨年を上回ることができました。

(国内事業)

当第2四半期連結累計期間は、今年度当社の大きな政策課題である‘イオンファンタジーブランド’の確立による現場力強化にむけた取り組みを推進してまいりました。特にお客さまや従業員等各ステークホルダーに対する取り組みとして、当社キャラクターラちゃんを中心とした「モーリーファンタジーのなかまたち」をブランドメッセンジャーと位置づけ、オリジナル遊戯機械開発や販売促進にも直結するモーリーファンタジーの絵本配布、他社とのコラボレーションを行いました。

オリジナル遊戯機械開発は5機種それぞれ100台、合計500台を投入し、幼児を中心に多くのお子さまに楽しんでいただいております。当社キャラクターの絵本配布も含めたこれらの取り組みが幼児部門の強化につながり、イオンファンタジーらしい差別化された店づくりを行うことが出来ました。

また、社内の組織力向上の取り組みとして、‘課題解決型組織’への進化に向けた現場オペレーションの見直しや現場第一線を起点とした57店舗の活性化とともに、店スタッフの専門能力向上への取り組み等を進めた結果、週末の集客に苦戦した6月度の落ち込みはあったものの第2四半期累計期間としてはほぼ計画に沿った営業概況でした。

(海外事業)

一方、今期から連結決算の対象となる海外事業は、積極的な先行投資を行い、中国で4店舗、マレーシアで3店舗、さらには新たな成長市場であるタイにおいて子会社を設立いたしました。その結果、海外の累計店舗数は中国で7店舗、マレーシアで23店舗まで拡大させるとともに、それぞれの既存店売上高伸び率が中国で15.8%増、マレーシアが21.4%増となるなど確実に収益の向上を進めております。

なお、2012年5月に設立したタイの子会社2社は当第2四半期連結決算に含まれており、1号店は本年11月開店を予定しております

連結通期業績については当初の下半期計画を見直すことで上半期のカバーは十分に可能であると考えております。

(ご参考：国内単体業績)

	平成25年2月期 第2四半期実績(百万円)	前年同期比増減率 (%)
売上高	21,443	2.8
営業利益	1,711	8.1
経常利益	1,726	9.2
四半期純利益	887	27.8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、134億73百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金58億83百万円、売上預け金17億72百万円、関係会社寄託金40億円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、131億28百万円となりました。主な内訳は、遊戯機械72億59百万円、のれん11億65百万円であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、75億44百万円となりました。主な内訳は、買掛金12億95百万円、設備関係支払手形27億43百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2億16百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、188億41百万円となりました。主な内訳は、資本金17億47百万円、資本剰余金17億16百万円、利益剰余金152億59百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、前事業年度末との比較分析は行っていません。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は57億83百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は、12億63百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純利益15億67百万円及び減価償却費19億31百万円の計上による資金の増加と、売上預け金15億63百万円の増加による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、1億54百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出20億32百万円及び関係会社寄託金の回収20億円による資金の増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、5億79百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月5日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、イオンファンタジー北京(永旺幻想(北京)児童遊楽有限公司)及びイオンファンタジーマレーシア(AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN. BHD.)については、今後重要性が増すと考えられるため、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間より、5月23日に設立したイオンファンタジータイランド(AEON Fantasy (Thailand) Co., Ltd.)及びイオンファンタジーホールディングスタイランド(AEON Fantasy Holdings (Thailand) Co., Ltd.)を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		5,883,299
売上預け金		1,772,078
たな卸資産		940,994
関係会社寄託金		4,000,000
その他		877,339
流動資産合計		13,473,710
固定資産		
有形固定資産		
遊戯機械(純額)		7,259,128
その他(純額)		1,882,026
有形固定資産合計		9,141,155
無形固定資産		
のれん		1,165,674
その他		40,670
無形固定資産合計		1,206,344
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金		2,092,715
その他		688,488
投資その他の資産合計		2,781,204
固定資産合計		13,128,704
資産合計		26,602,415
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金		1,295,917
未払費用		1,373,291
未払法人税等		1,021,113
賞与引当金		171,740
役員業績報酬引当金		24,140
設備関係支払手形		2,743,086
その他		915,469
流動負債合計		7,544,759
固定負債		
退職給付引当金		15,266
資産除去債務		190,938
その他		9,900
固定負債合計		216,104
負債合計		7,760,864

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成24年8月20日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,747,139
資本剰余金	1,716,805
利益剰余金	15,259,538
自己株式	△71,402
株主資本合計	18,652,080
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△82,026
その他の包括利益累計額合計	△82,026
新株予約権	46,314
少数株主持分	225,182
純資産合計	18,841,551
負債純資産合計	26,602,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
売上高	21,912,208
売上原価	18,939,340
売上総利益	2,972,868
販売費及び一般管理費	1,391,326
営業利益	1,581,542
営業外収益	
受取利息	10,716
機械仕入割戻	8,146
その他	14,017
営業外収益合計	32,880
営業外費用	
為替差損	11,192
固定資産売却損	11,715
その他	4,308
営業外費用合計	27,216
経常利益	1,587,206
特別損失	
閉店損失引当金繰入額	11,421
減損損失	8,569
特別損失合計	19,990
税金等調整前四半期純利益	1,567,216
法人税、住民税及び事業税	970,989
法人税等調整額	△142,327
法人税等合計	828,661
少数株主損益調整前四半期純利益	738,554
少数株主利益	280
四半期純利益	738,273

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	738,554
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△33,527
その他の包括利益合計	△33,527
四半期包括利益	705,027
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	713,547
少数株主に係る四半期包括利益	△8,520

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	1,567,216
減価償却費	1,931,443
固定資産除売却損益(△は益)	79,622
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,493
受取利息	△10,716
減損損失	8,569
売上債権の増減額(△は増加)	109
売上預け金の増減額(△は増加)	△1,563,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144,005
仕入債務の増減額(△は減少)	423,708
その他	△32,573
小計	2,246,155
利息の受取額	11,969
法人税等の支払額	△994,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,263,145
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,032,963
有形固定資産の売却による収入	35,288
無形固定資産の取得による支出	△24,640
長期前払費用の増加による支出	△10,181
敷金及び保証金の差入による支出	△52,676
敷金及び保証金の回収による収入	39,055
関係会社寄託金の純増減額(△は増加)	2,000,000
その他	△108,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,436
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△579,691
その他	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	532,392
現金及び現金同等物の期首残高	4,326,947
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	923,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,783,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)1
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,432,270	479,938	21,912,208	—	21,912,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,188	—	11,188	△11,188	—
計	21,443,459	479,938	21,923,397	△11,188	21,912,208
セグメント利益又は損失(△)	1,711,846	△130,303	1,581,542	—	1,581,542

(注) 1.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。